

# 1 三郷散策コース 約 4.9km

三郷とは安食の荘の福德、中切、成願寺をいい、庄内川・矢田川の水禍に苦しみながら農耕を続けた祖先を偲びつつ、僧行基によって建てられたという成願寺、聖徳太子ゆかりの聖徳寺をめぐり、水屋のあとをとどめる八龍社までの散策路。

## ① 御用水跡街園

御用水は、庄内川の水を名古屋城内へ引き入れるために開かれた。街園はその水跡敷。並行する黒川は、黒川治愿により明治9年(1876)に竣工(翌年完工)した。上流は木津用水につながる。

## ② 羊神社

延喜式神名帳にも記され、天保9年(1838)再建の本殿が現存する由緒ある社。辻の地名は、ひつじのつじに由来すると伝えられる。

## ③ 如法山 修善寺

文安元年(1444)の創建。本尊薬師如来像は、空海42歳のときの作といわれ、辻薬師または厄除薬師と呼ばれている。

## ④ 別小江神社

式内六所明神と称号され、延喜式神名帳に尾張国山田郡式内従三位別小江天神と記されている。末社の八幡社は、安産の神と称され、世俗に、安井の里でできたわらを敷くと安産疑いなすと伝えられている。

## ⑤ 山神社・お福稲荷社

安井城の鬼門の守護神として創建されたといわれる。末社のお福稲荷社は、戦前まで大変な賑わいを見せていた。安井城址は、この社の西南一帯と伝えられる。

## ⑥ 慈眼山 成願寺

もとは常観寺といい、安食・山田一族の菩提寺であった。本尊の木造十一面観音菩薩立像は、平安朝時代の技法を残す彫刻として市指定文化財となっている。山田重忠による中興開山800(平成21年)年を記念し、全面改築中となっている。完成は、平成21年6月予定

## ⑦ 神明社

中切村村社で、改修前の矢田川と庄内川の間であり、高い石組境内は、水難から免れるためのもの。付近の民家も一段高い土地に建てられていた。

## ⑧ 普門山 聖徳寺

聖徳太子自作と伝わる像を本尊とし、安食次郎重頼が建てたといわれる。重文紙本白描絵因果経一巻がある。

## ⑨ 八龍社

神明社同様境内は高い。遷宮棟札に寛永9年(1632)と記されている。

